

平成29年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

和歌山県

行 事 名 称	伝建4地区合同自主防災訓練
実施期間・日時	平成30年 2月 4日 10時 ~ 11時
実 施 場 所	北の町老人憩の家 付近（湯浅伝建地区内）
主 催 者	伝建4地区自主防災連絡協議会

■実施内容

訓練の想定

具体的な想定なし

訓練の内容

消火器の使用方法

消火栓・防火水槽からの取水方法

バケツリレー

専用テントによる煙体験

参加者及び役割分担

湯浅伝建地区の住民 約40名が参加。湯浅広川消防組合の説明・実演と、参加者による訓練・体験を通じて火災の恐ろしさや初期消火の大切さ、その方法を知ってもらう。

特に工夫した点

町並みそのものが文化財であるという中で、そこに住む住民それぞれが理解しておくべき火災への恐ろしさや初期消火の大切さを、総参加による訓練を通じて身につけてもらうべく実施している。毎年、内容を変えながら実施しているが、昨年度の伝建地区での火災を踏まえ、初期消火の大切さを身につける訓練を、昨年に継続して行った。また、専用テントによる煙体験を実施し、火災の恐怖を感じてもらう訓練とした。訓練の内容は、地元住民による自主防災組織が消防組合と連携して計画しており、住民主導による訓練が続いている。

問題点・課題

参加者がもう少し多くある必要がある。

その他

訓練風景



バケツリレー



専用テントによる煙体験